

## ウイルスメールからの被害を防ぐために

インターネット利用にあたりウイルスつきメールを受け取ることはよくありますが、正しく対処すれば被害を防ぐことができます。学内で快適にトラブルなくコンピュータサービス・インターネットサービスを利用できるよう以下の事項を守って下さるようお願いいたします。

### 1. 不審な電子メールを受け取ったら：

悪質なウイルスメールを開くと、当該パソコンが破壊の危険にさらされるだけでなく、学内のみならず学外にもウイルス被害が拡大します。不審なメールは開かず廃棄するよう心がけて下さい。特に添付ファイルを開く場合には本文をよく読んであやしい添付ファイルでないかどうか、よく確認することが肝要です。

### 2. ウイルス対策ソフトの導入：

学内にパソコンを持ち込んで利用するときは必ずウイルス対策ソフトを備え付けておいて下さい。悪質なウイルスからパソコンおよび学内を守ることができます。なおウイルス対策ソフトの有効期限にご注意下さい。期限の切れたソフトウェアはウイルスに対して無力です。

### 3. メールソフトの設定：

メールソフトによってはメールをプレビューするだけで自動的に感染する設定になっていることがあります。使用するメールソフトの設定を確認し、自動感染しないようにしてください。

### 4. ウイルスに感染したら：

不幸にして自分のパソコンがウイルス感染してしまったら、すぐに次のことをお願いします。【1】ネットワークケーブルを抜く。【2】ワクチンソフトで対処する。【3】メディアセンター(電話2640)に報告する。もし学内共同利用パソコンの場合は、【2】と【3】をお願いします。

### 5. ウイルス対策ソフトのご案内：

メディアセンターではウイルス対策ソフト「Symantec Endpoint Protection」を用意しております。インストールご希望の際はメディアセンター(内線2640)までお問い合わせ下さい。